

平成 20 年度第 3 回法務委員会(議事録抄)

日 時 平成 20 年 9 月 9 日(火) 1300 ~ 1700

場 所 操縦士協会事務局

出席者 熊坂、大久保、池内各委員

1. 理事会報告 (大久保理事 池内理事)

- ・ JAPA 今後の在り方委員会の発足
- ・ その他各委員会報告があった。

2. 907 裁判の今後と声明文について

- ・ 池田教授の講演内容については、委員会としての校正作業を実施したが、先生の校正作業に時間がかかっている。(次回 11 月号に間に合うように再度要請)
- 907 裁判の声明文については、P 誌(白石専務の報告)の内容を確認後、今後の処理には、事務局長、萩尾会長に委員会としての意見を伝え、理事会で検討してもらうように要請した。
- 今後の対応については理事会の方向性を確認後対処する。

3. 10 月に発足する運輸安全委員会の説明会出席について

- ・ 法務委員会としての見解と質問をまとめていきたい→船舶の場合と航空機の場合、同等には扱えない。航空分野は再発防止策を至上命題とし取り組んだ結果、高い安全性を担保している。

4. 安全な社会の実現を目指して

神奈川大学堀野助教授の勉強会は、時期を再度調整し来期に延期するテーマは引き続き下記のような内容で検討していただく。

- ・ 科学的事故調査(交通事故調査の改善に向けて)
- ・ 道交法改正で刑事訴追のありかたがどのように変わっていくか?
- ・ 現行法は国際的に見て、罰則の適応等が適切なのか?

クランフィールド大学からの講師派遣が現実味を帯びた時点で、堀野先生の学習会を検討してみてもどうか→要検討

5. 家族支援局(日本判)の課題と研究

NTSB Family Assistance の調査研究 (翻訳作業)現在委員長が実施中

6. 英クランフィールド大学からの派遣について

・事故調査の在り方についての講習会を来年 4 月ごろに開催検討
委員会から池内委員の参加を検討

7. 次回開催日程

今後は議題がなければ、奇数月に開催。必要な情報や意見聴取はメールで行う。
次回開催は 11 月 11 日予定